

6

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 / 95 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。

本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは..... 156
- 2** 標準システムを復元する 157
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 / 95 モデル)..... 161
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 / 95 モデル)..... 163

① カスタム・リカバリCD / リカバリCD とは

① カスタム・リカバリCD とは (Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

Product Recovery CD-ROM
アプリケーション & ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows およびデバイスドライバを復元します。アプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 / 95 モデル)」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 / 95 モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリCD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項についてはアプリケーションCDをCD-ROM装置にセットし、Autorun機能により表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD / アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することは出来ません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

Windows 95 モデルの場合は、Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベル (Windows セットアップで入力する、Product ID が印刷されています)

☞ Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルの位置について

⇒ 「2章 2-2 Windows 95 のセットアップ」

取扱説明書 (本書)



メモ

・Windows 2000 / NT モデルの場合、工場出荷時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、Windows 2000 の場合は「ディスクの管理」、Windows NT の場合は「ディスクアドミニストレータ」を使用してください。

② 操作手順

● Windows 98 / 95 モデルの場合



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1** パソコンをご購入時の状態に戻す
取り付けた拡張カード類はすべて取りはずしてください。
- 2** Windows 98 モデルまたは Windows 95 モデルの「Product Recovery CD-ROM Disk1」を CD-ROM 装置にセットする
- 3** 一度パソコンの電源を切り、キーボードの **[Delete]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
BIOS セットアップの画面が表示されたらキーを離します。
- 4** キーで「Advanced」を選択する
- 5** キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**[Enter]** キーを押す
- 6** キーで「1st Boot Device」を選択し、**[Enter]** キーを押す
「◀Options▶」の画面が表示されます。

7 キーで「CDROM」を選択し、キーを押す

8 キーを押し、キーを押す

```
[ Save current settings and exit ]
  Press [ Enter ] to Continue
  Press [ Esc ] to Abort
```

のメッセージが表示されるので、キーを押します。
システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

9 キーを押す

「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。

10 キーを押す

クイックフォーマットをする場合は、キーを押してください。

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

11 キーを押す

処理を中止する場合は、キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

12 CD を取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

13 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードのキーを押し、BIOS セットアップを起動する
BIOS セットアップの画面が表示されたらキーを離します。

14 キーで「Advanced」を選択する

15 キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、キーを押す

16 キーで「1st Boot Device」を選択し、キーを押す
「Options」の画面が表示されます。

17 キーで「Floppy」を選択し、キーを押す

18 キーを押し、キーで設定を保存する

```
[ Save current settings and exit ]
  Press [ Enter ] to Continue
  Press [ Esc ] to Abort
```

のメッセージが表示されるので、キーを押します。
システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」

Windows 2000 / NT モデルの場合

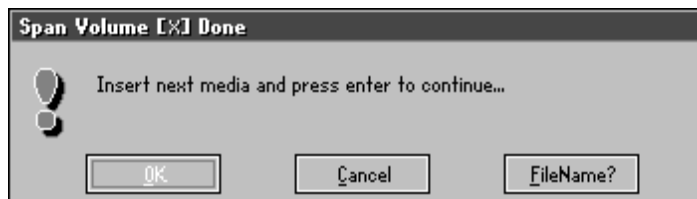
! 注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1** パソコンをご購入時の状態に戻す
取り付けた拡張カード類はすべて取りはずしてください。
- 2** 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をCD-ROM装置にセットする
- 3** 一度パソコンの電源を切り、キーボードの **[Delete]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
BIOS セットアップの画面が表示されたらキーを離します。
- 4** **[F2]** キーで「Advanced」を選択する
- 5** **[F10]** キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**[Enter]** キーを押す
- 6** **[F1]** キーで「1st Boot Device」を選択し、**[Enter]** キーを押す
「**◀Options▶**」の画面が表示されます。
- 7** **[F2]** キーで「CDROM」を選択し、**[Enter]** キーを押す
- 8** **[Esc]** キーを押し、**[F10]** キーを押す

[Save current settings and exit]
Press [Enter] to Continue
Press [Esc] to Abort

のメッセージが表示されるので、**[Enter]** キーを押します。
「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。

- 9** Windows 2000を復元する場合には、**[1]** キーを押す
Windows NTを復元する場合には、**[2]** キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
- 10** 復元の処理を開始する場合には、**[Y]** キーを押す
処理を中止する場合には、**[N]** キーを押す
- 11** メッセージに従い、「Product Recovery CD-ROM」を入れ替える
Windows 2000の復元中に次のメッセージが表示された場合には、「Product Recovery CD-ROM Disk2」に入れ替えて、**[Enter]** キーを押してください。



- 12 復元が完了したら、「Product Recovery CD-ROM」を CD-ROM ドライブから抜く
- 13 何かキーを押して、システムを再起動する
- 14 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの **[Delete]** キーを押し、BIOS セットアップを起動する
BIOS セットアップの画面が表示されたらキーを離します。
- 15 キーで「Advanced」を選択する
- 16 キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**[Enter]** キーを押す
- 17 キーで「1st Boot Device」を選択し、**[Enter]** キーを押す
「**◀Options▶**」の画面が表示されます。
- 18 キーで「Floppy」を選択し、**[Enter]** キーを押す
- 19 **[Ecs]** キーを押し、**[F10]** キーで設定を保存する

[Save current settings and exit]
Press [Enter] to Continue
Press [Esc] to Abort

のメッセージが表示されるので、**[Enter]** キーを押します。

システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルでは、Windows およびデバイスドライバを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたアプリケーションなどはインストールされません。



・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

アプリケーション&ドライバCD-ROM

Windows 95 モデルの場合は、Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベル（Windows セットアップで入力する、Product ID が印刷されています）

☞ Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルの位置について

⇒「2章 2-2 Windows 95 のセットアップ」

取扱説明書（本書）

2 操作手順



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類はすべて取りはずしてください。

2 Windows 98 モデルまたは Windows 95 モデルの「Product Recovery CD-ROM Disk1」を CD-ROM 装置にセットする

3 一度パソコンの電源を切り、キーボードの **Delete** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

BIOS セットアップの画面が表示されたらキーを離します。

4 キーで「Advanced」を選択する

5 キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**Enter** キーを押す

6 キーで「1st Boot Device」を選択し、**Enter** キーを押す

「**Options**」の画面が表示されます。

7 キーで「CDROM」を選択し、**Enter** キーを押す

6 章

カスタム・リカバリCDの使い方

8 [Esc]キーを押し、[F10]キーを押す

```
[ Save current settings and exit ]
  Press [ Enter ] to Continue
  Press [ Esc ] to Abort
```

のメッセージが表示されるので、[Enter]キーを押します。
システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

9 [2]キーを押す

「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。

10 [1]キーを押す

クイックフォーマットをする場合は、[2]キーを押してください。
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

11 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。
ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

12 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

13 「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの[Delete]キーを押し、BIOS セットアップを起動する BIOS セットアップの画面が表示されたらキーを離します。

14 [] []キーで「Advanced」を選択する

15 [] []キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、[Enter]キーを押す

16 [] []キーで「1st Boot Device」を選択し、[Enter]キーを押す 「◀Options▶」の画面が表示されます。

17 [] []キーで「Floppy」を選択し、[Enter]キーを押す

18 [Esc]キーを押し、[F10]キーで設定を保存する

```
[ Save current settings and exit ]
  Press [ Enter ] to Continue
  Press [ Esc ] to Abort
```

のメッセージが表示されるので、[Enter]キーを押します。
☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

4

アプリケーションを再インストールする(Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk1」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ & A	166
----------	-------------------	-----



1 困ったときのQ & A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、各システムのマニュアルを参照してください。

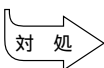
アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

● 電源が入らない	166
● エラーメッセージが表示される	167
● Windows NT でシャットダウン後電源が切れない	167
● 画面の表示がおかしい	168
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	169
● マウスの操作ができない	169
● フロッピーディスク装置が使えない	170
● フロッピーディスクが使えない	170
● アプリケーションソフトが使えない	171
● ハードディスク装置が使えない	171
● CD-ROM 装置が使えない	172
● サウンドが鳴らない	172
● 印刷できない	173
● テレビ、ラジオに障害が出る	173
● 異常や故障の場合	174
● どうしてもわからない場合	174

● 電源が入らない

状況 ● 本体の電源が入らない

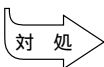
確認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？



対処

● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

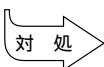
確認 電源ランプは点灯していますか？



対処

● 電源スイッチを押してください。

確認 電源コンセントに電源が通じていますか？



対処

● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

エラーメッセージが表示される

状況 ● 起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを抜き出してから、再起動してください。

確認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対処 ● 電源を切ってから 5 秒以上待って電源を入れてください。

状況 ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対処 ● アプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

状況 ● 「CMOS Checksum Bad」というエラーメッセージが表示される

確認 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

対処 ● 内蔵バッテリーを交換してください。
☞ 「4 章 10 内蔵バッテリーの交換」

Windows NT でシャットダウン後電源が切れない

状況 ● Windows NT でシャットダウン後、パソコン本体の電源が切れない

確認 Windows NT の Service Pack をインストールしましたか？

対処 ● Windows NT の Service Pack6 より新しい Service Pack をインストールした場合、東芝ソフトウェアパワーオフ機能は動作を保証しません。東芝ソフトウェアパワーオフをアンインストールして再度 Service Pack をインストールしてください。
この場合、シャットダウンしても電源は自動的に切れません。シャットダウン後に電源スイッチを押して電源を切ってください。
インストール方法については、アプリケーション CD を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される画面に従ってください。

確認 Windows NT を再インストールしましたか？

対処 ● 東芝ソフトウェアパワーオフ機能を再度インストールしてください。
インストール方法については、アプリケーション CD を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される画面に従ってください。

● 画面の表示がおかしい

状況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● ゆるみがないように正しく接続してください。

確認 表示自動停止機能が働いていませんか？（Windows 98 / 95 / 2000）

対処 ● **Shift** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB 機器は接続していますか？

対処 ● 接続されている USB 機器によっては、USB 機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入ると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてから USB 機器の電源を入れてください。

状況 ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置等が異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行ないましたか？

対処 ● 電源をご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状況 ● キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？

対処 ● キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

状況 ● どのキーを押しても反応しない

対処 ● 電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状況 ● 電源を入れ直しても反応しない

対処 ● **Ctrl** キーと **Alt** キーを押したまま **Delete** キーを押してください。

状況 ● 半角の「`~`」(チルダ)が入力できない

対処 ● **Shift** キーを押したまま **Alt** キーを押してください

状況 ● 「`£`」「`¢`」「`¥`」などが入力できない

対処 ● OADG 規格の 106 キーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照してください。

状況 ● 希望の文字が入力できない

対処 ● キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

● マウスの操作ができない

状況 ● マウスを操作しても反応しない

確認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対処 ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

● フロッピーディスク装置が使えない

状況 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、**[Ctrl] + [Alt] + [Delete]** キーを押しても、システムが再起動しない

確認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対処 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。
どうしてもフロッピーディスク装置が使えない場合は、フロッピーディスク装置が故障している恐れがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

状況 ● FDD アクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**[Ctrl]** キーと**[Alt]** キーを押したまま**[Delete]** キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみても、それでもFDD アクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

● フロッピーディスクが使えない

状況 ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ☞ 「1章 4-4- 3.5型フロッピーディスク」

状況 ● 「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ● フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

- 対処**
- 不要なファイルを削除して、やり直してください。
 - 別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ●フロッピーディスク装置にフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージのウィンドウが表示される

- 対処**
- メッセージウィンドウの[キャンセル]ボタンを閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

状況 ●フロッピーディスク装置に、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージのウィンドウが表示される

- 対処**
- メッセージウィンドウの[いいえ(N)]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

- 対処**
- アプリケーションソフトのマニュアルを読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

- 対処**
- システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

● ハードディスク装置が使えない

状況 ●データの読み/書きができない

- 対処**
- そのハードディスク装置は故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● CD-ROM 装置が使えない

状況 ●CD-ROM 装置にアクセスできない

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイはきちんとしまっていますか？

対処 ●CD-ROM 装置のディスクトレイを正しく格納してください。

確認 CD がきちんとセットされていますか？

対処 ●CD-ROM 装置のディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイに異物はありませんか？

対処 ●何かはさまっていたら取り除いてください。

確認 CD が汚れていませんか？

対処 ●水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認 対応していないフォーマットの CD-ROM をセットしていませんか？

対処 ●CD-ROM 装置が対応しているフォーマットの CD-ROM をセットしてください。

☞ 「1 章 4-3 CD-ROM 装置について」

状況 ●CD が取り出せない

確認 電源が切れていませんか？

対処 ●電源を入れてから、CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押してください。

● サウンドが鳴らない

状況 ●音楽用 CD や WAV ファイルを再生しても、音が出ない

確認 ボリュームが下がっていませんか？

対処 ●ボリュームコントロールで音量を確認してください。

確認 スピーカが接続されていますか？

対処 ●本体背面の LINE OUT 端子にスピーカ（別売り）を接続してください。
☞ スピーカの接続方法 ☞ 「4 章 5 スピーカ（別売り）の接続」

印刷できない

状 況 ● プリンタが動作しない

確 認 プリンタの電源は入っていますか？



● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

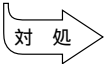
確 認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？



● 正しく接続してください。

状 況 ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

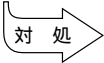
確 認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？



● アプリケーションソフト上、または Windows のプリンタ設定で正しく設定し直してください。

☞ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

確 認 BIOS セットアップでのパラレルモード設定は合っていますか？

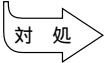


● BIOS セットアップの [Advanced] - [PERIPHERAL SETUP] の [Parallel Port Mode] を [ECP] に設定してください。

テレビ、ラジオに障害が出る

状 況 ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

確 認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？



● テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。

● テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。

● テレビ、ラジオから離してください。

● テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。

● 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。

● 受信機に屋外アンテナを使ってください。

● 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 異常や故障の場合

状 況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 次のところに連絡してください。
 - ・お買いあげの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
 - ・使用している機器の名称
 - ・ご購入年月日
 - ・現在の状態できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	176
2	各インタフェース	182
3	エラーメッセージ	188
4	その他の設定	189

1 製品仕様

1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

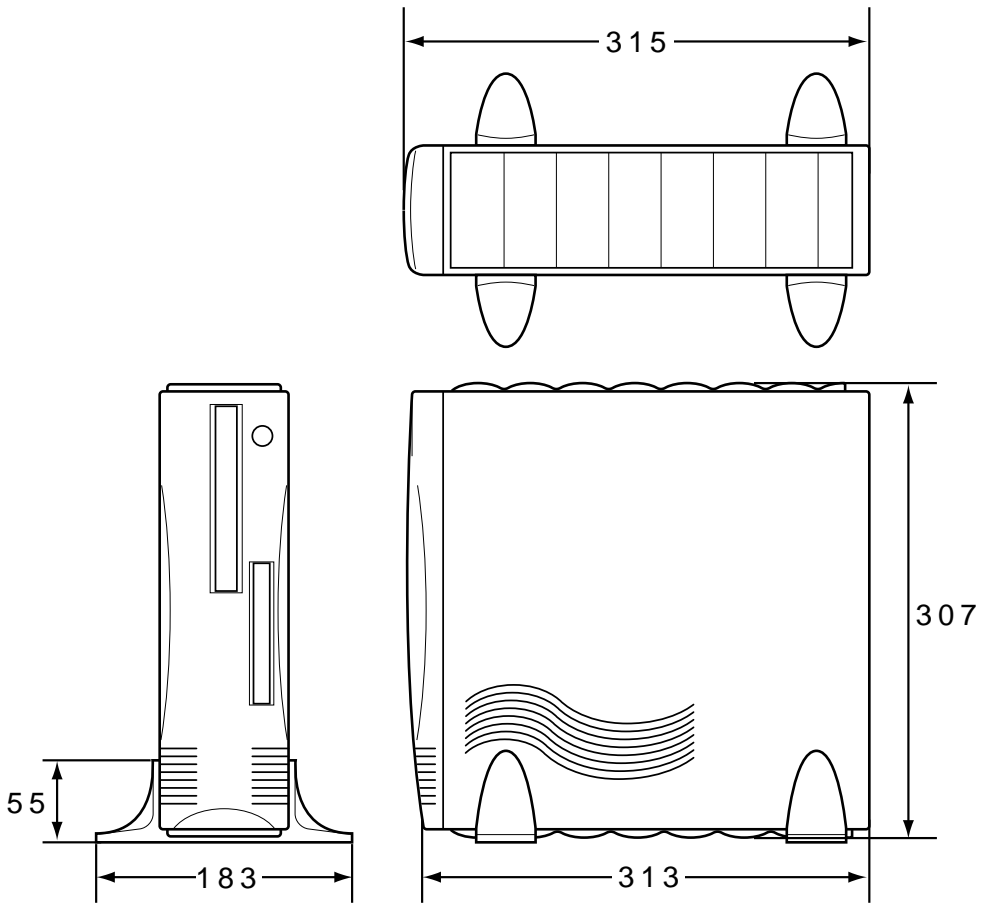
機種		EQUIUM 5010
プロセッサ	メインプロセッサ	Pentium 650MHz または Celeron 566MHz
		1次CACHE (32kB) FPU内蔵
		2次CACHE : 256kB (Pentium モデル) 128kB (Celeronモデル)
メモリ	標準メモリ	DIMM 64MB / 128MB / 256MB SDRAM 100MHz ECC無し
	増設メモリ	DIMMスロット×2 (内1つまたは2つを標準メモリで使用) 最大512MB (256MB×2)
		使用可能 DIMM 64MB / 128MB / 256MB ECC無し 100MHz
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)
表示機能	コントローラ	i810E GMCH
	ビデオRAM	Display Cache 無し (メインメモリと共有)
	グラフィック表示	640×480 256・64k・16M色 800×600 256・64k・16M色 1024×768 256・64k・16M色 1280×1024 256・64k・16M色 ^{*1} 1600×1200 256色 ^{*1}
通信機能	伝送速度	100Mbps TX LAN
	適合規格	100BASE-TX / 10BASE-T
補助記憶装置	FDD	3.5型 1台装備 720kB / 1.2MB / 1.44MB (3モード)
	HDD	3.5型 1台装備
		10GB / 15GB / 20GB
CD-ROM	24倍速 (最大)	
入力装置	キーボード	109キー 分離型
	マウス	PS/2 ホイール付き

*1 デジタルRGBディスプレイでは、1280×1024、1600×1200のモードで使用できません。

機 種		EQUIUM 5010
インタフェース	シリアル	2ポート D-SUB 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート アナログ RGB (3列タイプ)
	デジタルRGB	1ポート デジタル
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	2ポート *1
拡張スロット	PCI	× 2
内蔵機能	サウンド	i810E ICH + AD1881 (Codec)
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug & Play対応BIOS *1
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	90W
周囲温度	動作	10 ~ 35
	非動作	- 20 ~ 60
相対湿度	動作	20%Rh ~ 80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	10%Rh ~ 90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	89 (W) × 315 (D) × 307 (H) mm (たて置き時、台座を除く)
	キーボード	454 (W) × 172 (D) × 42 (H) mm (非フィルトアップ時)
質量	本体	約6kg
	キーボード	約1kg

*1 Windows NT4.0 をご使用の場合は、サポートされません。

2 外形寸法図



(単位 : mm)

3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512/640kB	システムボードRAM
000A0000	128kB	ビデオメモリエリア
000C0000	128kB	BIOSエリア他
000E0000	128kB	システム BIOSエリア他
00100000	~511MB	システムボードRAMエリア
20000000		

4 I/O マップ

アドレス	I/O
00000000-0000000E	DMAコントローラ
00000010-0000001	マザーボード リソース
00000020-00000020	プログラミング可能な割り込みコントローラ
00000022-0000003E	マザーボード リソース
00000040-00000042	システム タイマ
00000044-0000005E	マザーボード リソース
00000060-0000005	106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
00000061-00000060	スピーカー システム
00000062-00000062	マザーボード リソース
00000064-00000063	106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
00000065-0000006E	マザーボード リソース
00000070-00000070	システム CMOS/リアル タイム クロック
00000072-0000007E	マザーボード リソース
00000080-0000007F	マザーボード リソース
00000081-00000082	DMAコントローラ
00000084-00000085	マザーボード リソース
00000087-00000086	DMAコントローラ
00000088-00000087	マザーボード リソース
00000089-0000008A	DMAコントローラ
0000008C-0000008D	マザーボード リソース
0000008F-0000008E	DMAコントローラ
00000090-0000009E	マザーボード リソース
000000A0-000000A0	プログラミング可能な割り込みコントローラ
000000A2-000000BE	マザーボード リソース
000000C0-000000DE	DMAコントローラ
000000E0-000000EE	マザーボード リソース
000000F0-000000FE	数値デ - タ プロセッサ
00000170-00000176	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
00000170-00000176	Intel 82801AB BUS Master IDE Controller
000001F0-000001F6	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
000001F0-000001F6	Intel 82801AB BUS Master IDE Controller
000002F8-000002FE	通信ポート (COM2)
00000376-00000375	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
00000376-00000375	Intel 82801AB BUS Master IDE Controller
00000378-0000037E	ECP プリンタポート (LPT1)
000003B0-000003BA	Intel(R) 810 Chipset Graphice Driver (DC100) PV 2.1
000003C0-000003DE	Intel(R) 810 Chipset Graphice Driver (DC100) PV 2.1
000003F2-000003F2	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type A)
000003F4-000003F4	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type A)
000003F6-000003F5	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
000003F6-000003F5	Intel 82801AB BUS Master IDE Controller
000003F7-000003F6	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type A)
000003F8-000003FE	通信ポート (COM1)
00000400-0000047E	マザーボード リソース
00000480-000004BE	マザーボード リソース
000004D0-000004D0	マザーボード リソース
00000778-0000077E	ECP プリンタポート (LPT1)
00000800-0000087E	マザーボード リソース
00000CF8-00000CFE	PCI バス
0000BC00-0000BC3E	Intel 825x-based PCI Ethernet Adapter (10 / 100)
0000B000-0000BFFE	Intel 82801 AB PCI Bridge
0000D400-0000D41E	Intel 82801 AB USB Unibersal Host Controller
0000D800-0000D83E	SoundMAX Integrated Digital Audio
0000DC00-0000DCFE	SoundMAX Integrated Digital Audio
0000FFA0-0000FFA6	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
0000FFA8-0000FFAE	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
0000FFA0-0000FFAE	Intel 82801AB BUS Master IDE Controller

5 割り込みレベル・DMAチャンネル

IRQ	Channel
0	Interval Timer
1	Keyboard
2	IRQ from Second Interrupt
3	Serial Port 2,4
4	Serial Port 1,3
5	LAN / PCI
6	Floppy
7	Parallel Port 1
8	System CMOS / Real Time Clock
9	VGA / PCI
10	USB / PCI
11	Sound / PCI
12	Mouse Port
13	Math coprocessor
14	Primary IDE
15	Secondary IDE

DMA	幅	Channel
0	8/16ビット	Sound
1	8/16ビット	Sound
2	8/16ビット	Floppy
3	8/16ビット	Parallel Port
4	-----	DMA Controller
5	16ビット	User
6	16ビット	User
7	16ビット	User

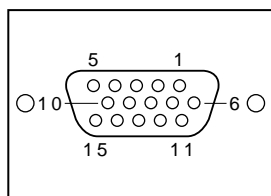
(出荷時の標準設定)

ソフトウェアによって変更される場合があります。

② 各インタフェース

① アナログRGB インタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

② アナログRGB インタフェースの同期信号

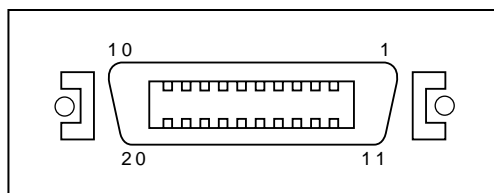
解像度 色数	640×480	800×600	1024×768	1280×1024	1600×1200
	垂直 (Hz)				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64k	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数 256:256色、64k:65,536色、16M:1,677万色

ご使用になれる解像度、色数は接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

③ デジタルRGB インタフェース

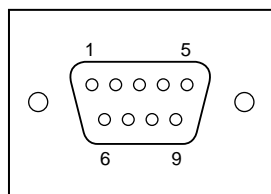


ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	緑色データ+	11	赤色データ+
2	緑色データ-	12	赤色データ-
3	緑色データ接地	13	赤色データ接地
4	クロックデータ接地	14	青色データ接地
5	クロックデータ+	15	青色データ+
6	クロックデータ-	16	青色データ-
7	DDCの接地	17	未使用
8	DDCの+5V	18	ホットプラグ信号
9	未使用	19	DDCデータ信号
10	未使用	20	DDCクロック信号

デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は1024 × 768 ドットです。

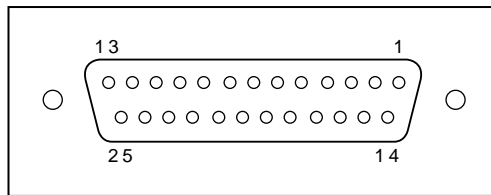
④ シリアルインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

5 パラレルインタフェース

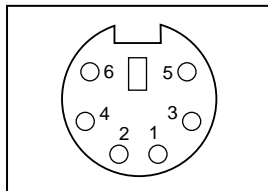


(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PD0～PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2～9	PD0～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グランド	

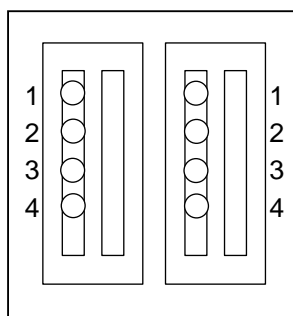
6 キーボード・マウスインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



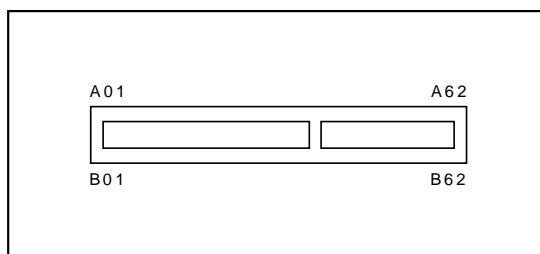
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グランド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

7 USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

8 拡張スロット (PCI タイプカード用)



9 拡張スロット (PCI タイプ)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O
26	C/BE [3] #	I/O	IDSEL	I
27	AD [23]	I/O	+3.3V	
28	GND		AD [22]	I/O
29	AD [21]	I/O	AD [20]	I/O
30	AD [19]	I/O	GND	
31	+3.3V		AD [18]	I/O
32	AD [17]	I/O	AD [16]	I/O
33	C/BE [2] #	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE [1] #	I/O	AD [15]	
45	AD [14]	I/O	+3.3V	
46	GND		AD [13]	I/O
47	AD [12]	I/O	AD [11]	I/O
48	AD [10]	I/O	GND	
49	GND		AD [09]	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD [08]	I/O	C/BE [0] #	I/O
53	AD [07]	I/O	+3.3V	

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
54	+3.3V		AD〔06〕	I/O
55	AD〔05〕	I/O	AD〔04〕	I/O
56	AD〔03〕	I/O	GND	
57	GND		AD〔02〕	I/O
58	AD〔01〕	I/O	AD〔00〕	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

● PCI スロットの電流容量

PCI スロットで使用可能な電流容量は次のとおりです。

PCI スロットの許容電流値
スロットごとに、次の許容電流値を必ず守ってください。

電流容量	PCIスロット
+5V	1A以下 0A もしくは
+3.3V	0A 1A以下
+12V	0.5A以下
-12V	0.1A以下

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるブザー類およびエラーメッセージを説明します。



注意 ・これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧ください。すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。

エラーメッセージ	説明
BIOS BATTERY HAS FAILED	内蔵バッテリーが消耗しています。 新しいバッテリーに交換してください。 ☞「4章 10 内蔵バッテリーの交換」
CMOS CHECKSUM BAD	CMOSでエラーが検出されました。内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。 バッテリーが消耗している場合は、新しいバッテリーに交換してください。
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	システムを起動する装置が見つかりません。 フロッピーディスク装置から起動する場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし、[Enter]キーを押してください。 ハードディスク装置から起動する場合は、システムが正しくインストールされているか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
DISK DRIVERS OR TYPES MISMATCH ERROR -RUN SETUP	ディスク装置が正しく定義されていません。 BIOSセットアップを起動し、ディスク装置を正しく設定し直してください。 ☞「5章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY SWITCH IS SET INCORRECTLY	メインボードのディスプレイスイッチの設定が正しくありません。 メインボードのディスプレイスイッチを「カラー」に設定し、ジャンパまたはBIOSセットアップを正しく設定し直してください。 ☞「5章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY TYPE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、ディスプレイアダプタが異なります。 BIOSセットアップを起動して、正しく設定してください。
ERROR ENCOUNTERED INITIALIZING HARD DRIVE / ERROR INITIALIZING HARD DISK CONTROLLER	ハードディスクをイニシャライズできません。 ハードディスクが正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 また、BIOSセットアップで、ハードディスクの設定が正しく行われているか確認してください。 必要に応じてハードディスクのジャンパの設定が正しく行われているか確認してください。
FLOPPY DISK CNTRLR ERROR / NO CNTRLR ERROR / NO CNTRLR PRESENT	フロッピーディスク装置が見つかりません。またはイニシャライズできません。 フロッピーディスク装置が正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
KEYBOARD ERROR / NO KEYBOARD PRESENT	キーボードをイニシャライズできません。 キーボードのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 また、起動中にキーを押さないでください。
MEMORY SIZE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、メモリの量（サイズ）が異なります。 （システムに認識されていません） BIOSセットアップを起動し、新しいメモリの量を設定してください。
MEMORY VERIFY AT...	メモリ書込み確認でエラーが検出されました メモリマップを確認のうえ、デバイスが使用するメモリを指定された範囲内に設定してください。
PRESS A KEY TO REBOOT	再起動が必要なエラーが発生しました。 どれかキーを押してください。システムが再起動します。
PRESS F1 TO DISABLE NM1, F2 TO REBOOT	BIOSがNMI状態を検出しました。 NMIを無効にするには[F1]キーを押します。 NMIを無効にせずにシステムを再起動するには[F2]キーを押します。
RAM - CHECKING FOR SEGMENT...	RAMでエラーが発生しました。 故障したRAMを新しいものと交換してください。
SYSTEM HALTED, (CTRL- ALT-DEL) TO REBOOT	システムを正常に起動できませんでした。 [Ctrl] + [Alt] + [Delete]キーを押して、再起動してください。

4 その他の設定

1 Windows 98 / 95 モデル

● DDC 機能について

EQUIUM シリーズでは、VESA (Video Electronics Standard Association) 準拠の DDC (Display Data Channel) 機能を持っており、プラグアンドプレイに対応しています。DDC 機能とは、モニタとの通信機能のことです。

ただし、CRT ディスプレイが対応していない場合は、DDC 機能は使用できません。

ディスプレイに付属のマニュアルでご確認ください。

DDC 機能を持っていないディスプレイを接続したとき、Windows 98 / 95 のセットアップ直後は、ディスプレイの設定が「Super VGA 1024 × 768」になっています。これは一般的な設定ですので、ご使用のディスプレイにあう設定に変更することをおすすめします。



お願い

・「東芝 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2 (CRT21002)」は DDC 機能に対応した CRT ディスプレイですが、正しく動作しない場合があります。その場合は、次にあげる手順に従い、設定してください。

● Windows 98 の場合

- 1 [スタート]メニューから [設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [画面] アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が起動します。
- 3 [設定] タブの [詳細] ボタンをクリックする
- 4 [モニタ] タブをクリックする
- 5 [変更] ボタンをクリックする
[デバイスドライバの更新ウィザード] 画面が表示されます。
- 6 [次へ] ボタンをクリックする
- 7 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする
- 8 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、使用するディスプレイの [製造元] および [モデル] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
「東芝製 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2」をご使用の場合は、次のように選択してください。
[製造元] TOSHIBA [モデル] Toshiba CRT21002
- 9 [次へ] ボタンをクリックする
- 10 [完了] ボタンをクリックする
- 11 [閉じる] ボタンをクリックする
- 12 [OK] ボタンをクリックする
「画面のプロパティ」が終了します。

● Windows 95 の場合

- 1 [スタート]メニューから[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [画面]アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が起動します。
- 3 [ディスプレイの詳細]タブの[詳細プロパティ]ボタンをクリックする
- 4 [モニター]タブをクリックする
- 5 [変更]ボタンをクリックする
- 6 [すべてのデバイスを表示]をクリックする
- 7 使用するディスプレイの[製造元]および[モデル]を選択し、[OK]ボタンをクリックする
「東芝製 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2」をご使用の場合は、次のように選択してください。
[製造元] TOSHIBA [モデル] Toshiba CRT21002
- 8 [閉じる]ボタンをクリックする
- 9 [OK]ボタンをクリックする
「画面のプロパティ」が終了します。

● DirectX について

● DirectX のインストールについて

ゲームなどをインストールするときに、DirectX のインストールをうながすウィンドウが表示される場合がありますので、ドライバを置き換えないことをおすすめします。インストールをする場合は、内容をよく理解したうえで、お客様の責任においてインストールを行なってください。本装置にはすでに DirectX7 ドライバがインストールされております。



- ・DirectX7 を置き換えてしまった場合、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

● ディスプレイアダプタの設定について

ゲームをインストールした後に、次の「ディスプレイアダプタの変更方法」の手順 1 ~ 3 を実行し、「ディスプレイの詳細プロパティ」を参照して、ディスプレイアダプタの設定内容を確認してください。ディスプレイアダプタの工場出荷時の設定は次のとおりです。

Windows 98/ 95の場合

Intel(r) 82810E Graphics Controller 4.12.01.2576

ディスプレイアダプタの設定が異なる場合は、「ディスプレイアダプタの変更方法」の手順 1 ~ 9 を実行し、工場出荷時の設定に戻してください。



メモ

- ・ディスプレイアダプタが変更された状態のままでは、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。
- ・ディスプレイの名称については [スタート] メニューから [はじめに] - [リリース情報] をクリックして表示される [出荷時の設定について] を参照してください。

● ディスプレイアダプタの変更方法

画面の表示例は Windows 98 の画面です。Windows 95 の場合は異なります。

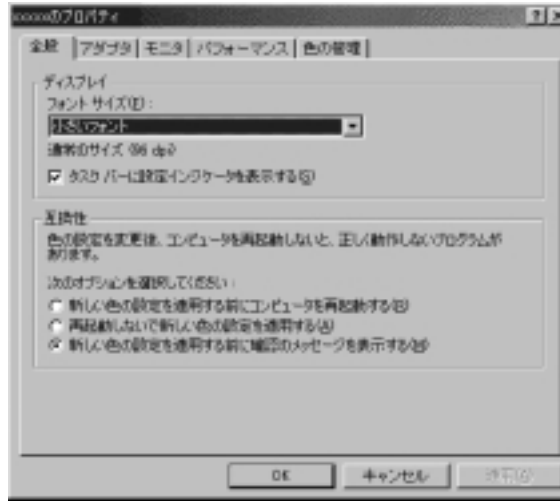
- 1 デスクトップ上の、アイコンなどが何も表示されていないところで、マウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ (R)] をクリックする
[画面のプロパティ] のウィンドウが表示されます。
- 2 [設定] (Windows 95 の場合は [ディスプレイの詳細]) タブをクリックする



(注) 画面は一例です。

3 [詳細] (Windows 95 の場合は [詳細プロパティ (A)]) ボタンをクリックする

「XXXXXX (ディスプレイアダプタ名) のプロパティ」または [ディスプレイの詳細プロパティ] ウィンドウが表示されます。



(注) 画面は一例です。

4 [アダプタ] タブをクリックする

Intel (r) 82810E Graphics Controller 4.12.01.2576 が表示されている場合は、以降の作業は必要ありません。

[キャンセル] ボタンをクリックして作業を終了します。

5 [変更 (C)] をクリックする

Windows 98 では [デバイスドライバの更新ウィザード] ウィンドウが表示されます。

Windows 95 の場合は、[変更] ボタンをクリックした後、さらに次の手順で変更してください。

6 [モデル] 一覧の「Intel (r) 82810E Graphics Controller 4.12.01.2576」の上でダブルクリックする

7 [ディスプレイの詳細プロパティ] ウィンドウが表示されるので、[閉じる] をクリックする

8 [画面のプロパティ] ウィンドウが表示されるので、[閉じる] をクリックするシステムを再起動するか、メッセージが表示されます。

9 [はい (Y)] をクリックする

システムが再起動し、ディスプレイアダプタの変更が反映されます。

② Windows NT モデル

● Service Pack6 のインストールについて

LAN などのドライバ / プロトコルを追加 / 変更した場合には、Service Pack6 を再度インストールしなければなりません。

インストールの際は以下の手順に従ってください。

- 1** デスクトップ上にある、Service Pack6 セットアップアイコンをダブルクリックする

Service Pack6 のインストールが始まります。画面の指示に従ってインストールを行なってください。

